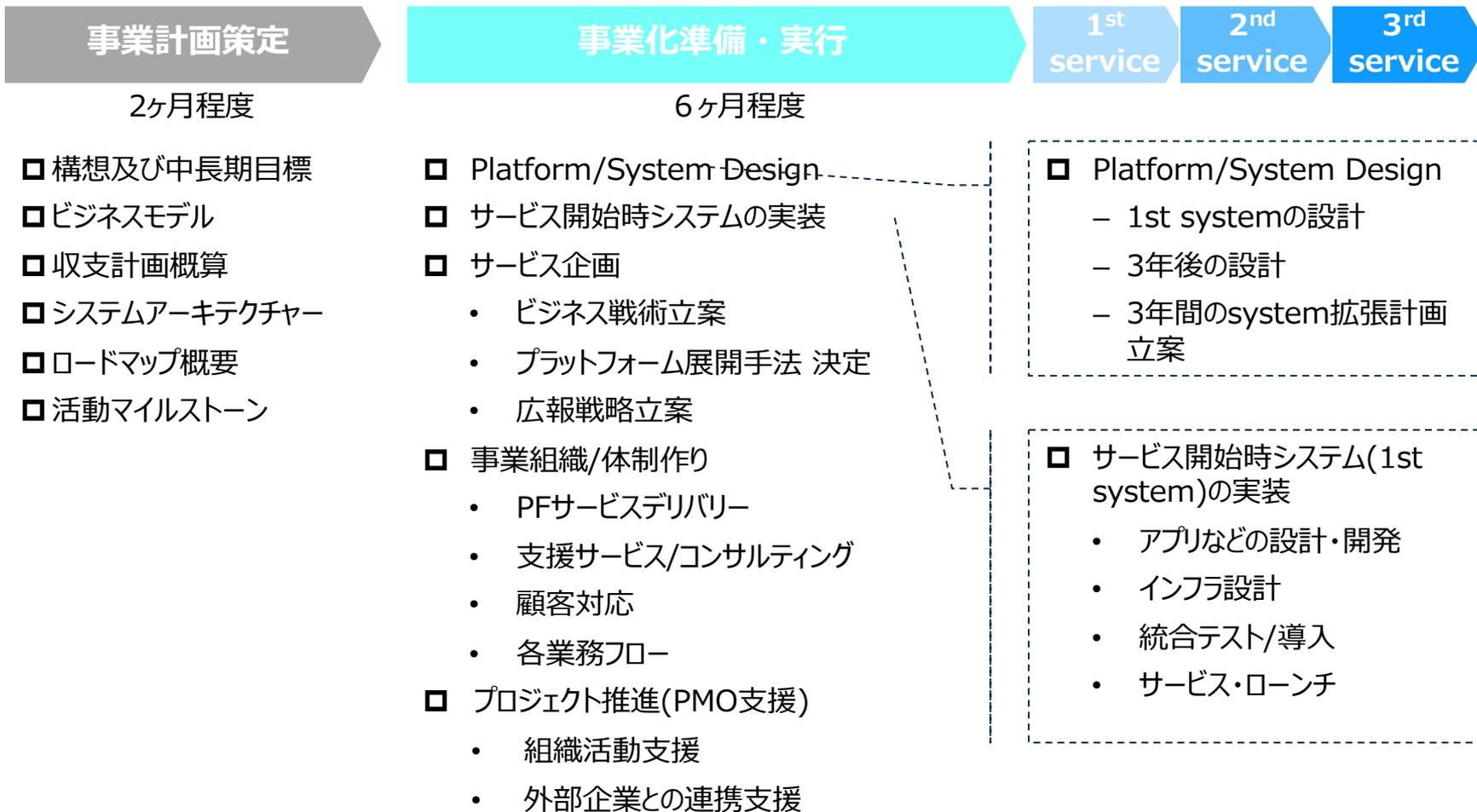




DX Drive Programの概要

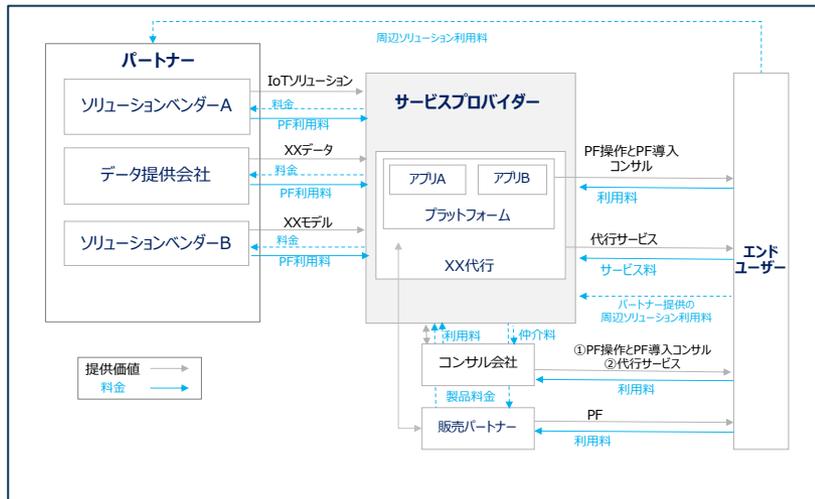
事業計画の策定、ソリューションのCloud実装、プラットフォームなどの構想、事業化に必要な組織体制作りといった、新規DX(デジタルトランスフォーメーション)ビジネス立ち上げに必要な一連の活動をフルスコープで支援します



DX Drive Programの事業計画策定では、ビジネスモデルの検討から中長期目標まで計画します。これにより効果的な新規事業立ち上げ計画を立案できます

ビジネスモデル

中長期目標

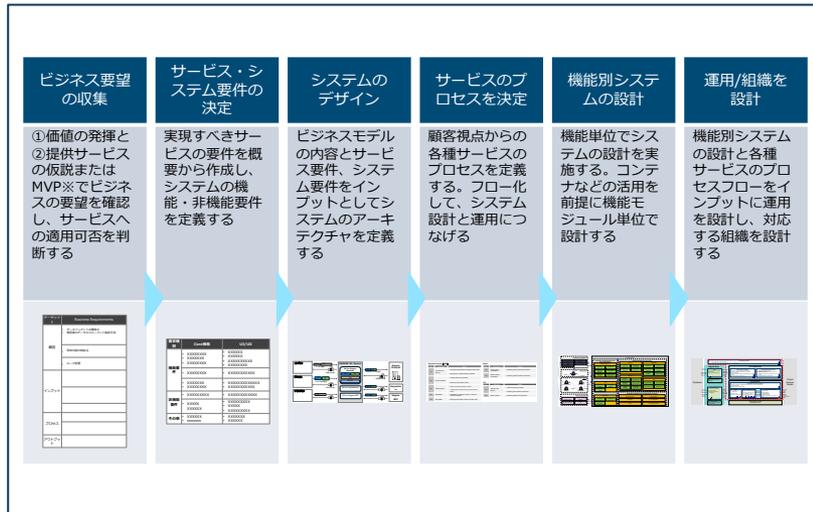


新規DXビジネスの構想をビジネスモデルに落とし込みます。各種ステークホルダー間の提供価値と対価の流れを整理します。

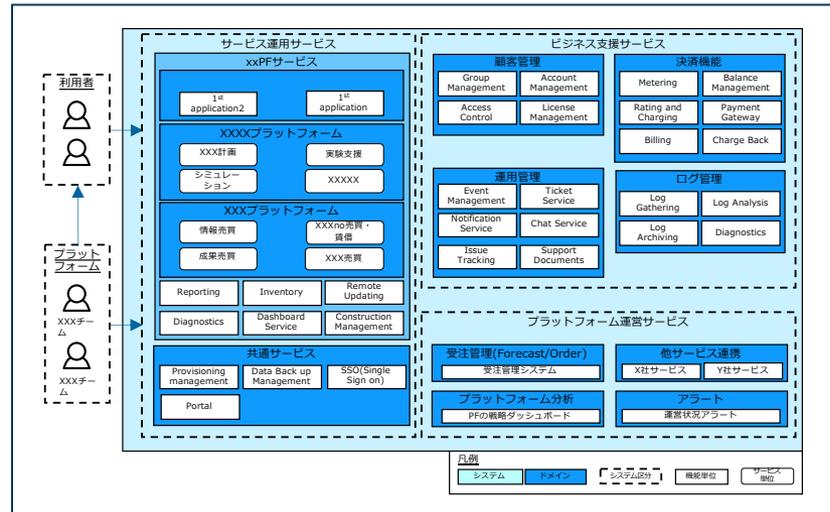
事業展開ロードマップを作成し、初期的な収支計画のシミュレーターを作成します。感度分析によりビジネスを成立させるためのバリュードライバーを特定します。

DX Drive Programの事業化準備・実行では、実践形態と必須機能を決定します。これに新規事業骨格を明示します

新事業実践のフレームワーク



必要なアプリケーションMAP

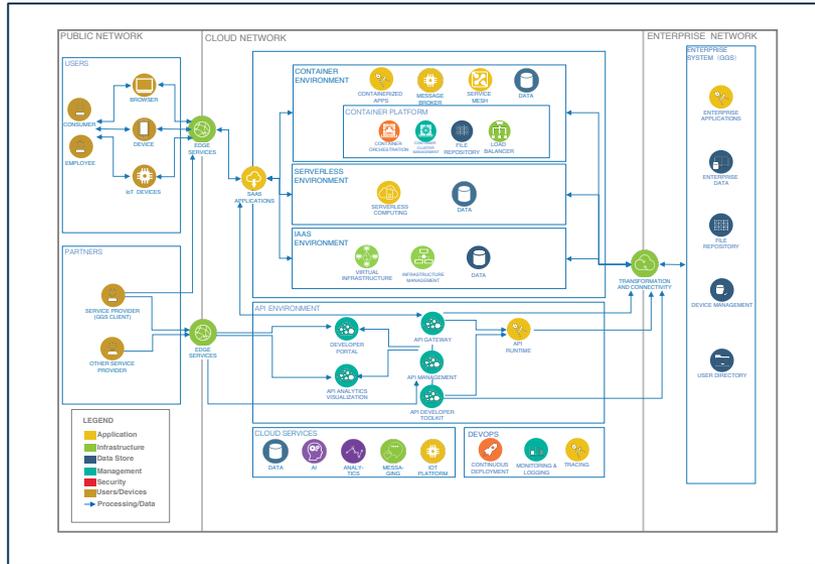


新規ビジネスを始めてからも継続してビジネスを推進するために、必要なプロセスを整理したフレームワークを応用し、実ビジネスを進めていきます。

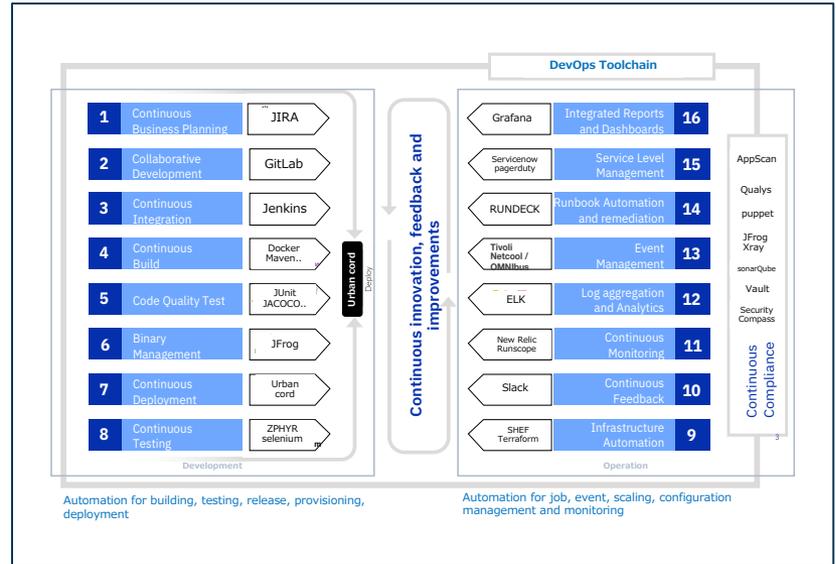
サービス展開するために必要なアプリケーション機能を整理しています。実装すればデジタルビジネスの準備が可能です。

DX Drive Programは システムの機能を設計し、それを開発する協力企業に対しての共有化も支援します。これにより着実な新規開発を実現します

Cloud上の機能設計



開発協力企業との情報共有化

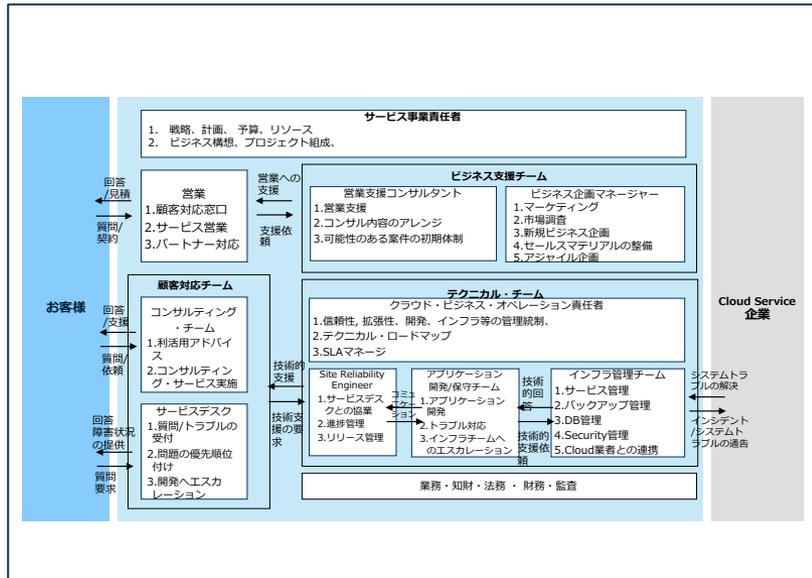


多くはCloudを利用します。各機能を配置する場合、Cloudサービスの何を使って実現するかを検討します。基本的な機能の配置はある程度設計しています。

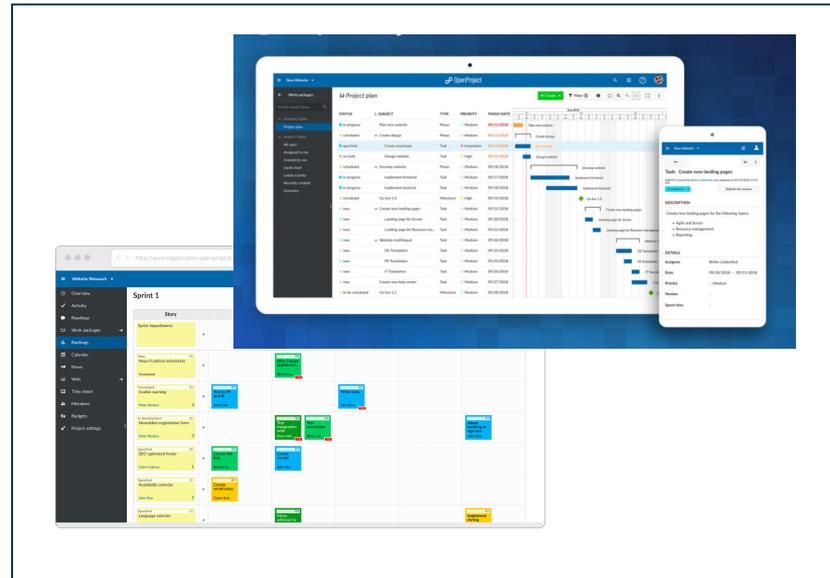
自社でできない開発は外部に委託しますが、連携するため共通のツールを用います。文書の管理を含め、双方のコミュニケーションを円滑にすることが重要です。

DX Drive Programは事業組織/体制作りまで検討します。また、全体的にプロジェクトの推進を的確に進めることも大切です。確実な事業立ち上げを支援します

事業を実行する組織の作り方



プロジェクトの進め方



サービスを提供するシステム運用をするためには、組織の立ち上げが必須です。組織を構築していくフレームを用意し、必要な組織づくりをサポートします。

設計、ビジネス実行、アプリケーション開発など、プロジェクト管理は多岐に渡ります。マネージする方法、ツールを用意しています。他社との協業も視野に入れて実施します。

本資料のお問い合わせは、以下までお願い致します。

日本アイ・ビー・エム株式会社
 グローバル・ビジネス・サービス事業本部
 技術戦略コンサルティング 今関 靖英
 mail address ; e08320@jp.ibm.com

